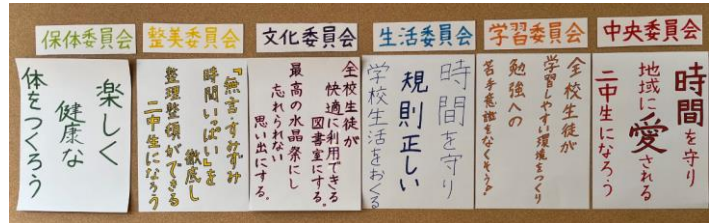


学校訪問シリーズ12

津久見市立第二中学校から学ぶ

学校の教育目標「よく考え、自分で判断し、適切に行動する、自律した生徒集団の育成」を達成するため、育成を目指す資質・能力を「発信力と受信力」と定め、重点目標を「授業改善と自己存在感を与える教育活動」「課題解決的な授業と共感的な人間関係の育成」「自己決定の場を与える教育活動」として組織的、計画的に取り組んでいます。



学校経営から学ぶ

今年度は特に、学力向上と生徒の「自己肯定感」を高める実践を行っています。そのため、これまでの低学力層の学習支援だけでなく中間層の引き上げも目標として、授業規律の徹底と生徒による学び合いを取り入れています。また、個々の生徒に達成感を感じさせるために、週末課題の量も減らすことで、自主的に学習する時間を増やす工夫をしています。

また、行事等では個人目標を設定させ、満足度や達成度を振り返らせることで、自分自身と集団の成長を感じさせています。

さらに、授業や行事だけでなく、日々の教育活動や家庭においても自己肯定感を感じさせる場を設定するとともに、各学年における「発信力と受信力」の具体的な到達目標を定めることで、教職員だけでなく生徒自身もその目標を意識した行動をすることが期待されます。

授業から学ぶ

3年生保健体育は、チームと個人の目標を設定したことで、それぞれが課題解決へ向けて取り組んでいました。

1年生英語は、それぞれがつくった英文の内容を添削し合うもので、ICTを効果的に活用していました。

2年生数学では、生徒どうして課題を解決する姿がとても印象的でした。

今後は、集団で学び合った内容を、各個人へ定着させるためにも、1時間の授業設定だけでなく、単元全体の計画を見直すことが期待されます。また、自己肯定感を高めるために、生徒を信じて任せる場を多く設け、教師の立ち位置（俯瞰的に見る）や、形成的評価を工夫してみたいかがでしょうか。



挑戦する

思い切って打ってみる!それをブロックで止める。最初からは上手くないかない。でも、繰り返すことでできるようになる。



諦めない

途中でやめたり、人のせいにしてたりしない。最後まで諦めずに挑戦するから成長する。



学び合い

教えてくれてありがとう。
私の説明で分かってくれてうれいよ。学び合いは共に成長する。



切磋琢磨

人に助言することは、少し勇気がいるけれど、お互いの成長には必要なことだね。